

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		-	-	-
		商店街（代表者）	販売量の動き	・1月の終わりから2月の初めにかけて、小中学生等の入学に向けた学校販売が終わった。現在、追加注文がかなり来ているので、とても良い。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客が少し街に出てくるようになっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・暖冬の影響が客の動きが良く、売上も多少増えている。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・例年2月は、業績の良くない月で来客も少ない時期だが、今年は週末の宿泊が好調で、動きが良い。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・予約状況は悪くない上、前月から継続してフリー利用にも恵まれ、順調に推移している。天候も崩れることがなかったことで、大きな減少もなく安定し、回復に向かっていく。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・来園客数は前年に比べ増加しているものの、伸び幅が3か月前と比べると若干低減している。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月依頼のあった葬儀全てが、直葬である。これは珍しいことだが、裏を返せば後を見る人がいないため、見送る人が親戚やおい、めで費用を掛けていない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、必要な時に必要な物を購入する消費者が多い。ただし、前年の猛暑時のエアコン騒ぎが記憶にあるのか、この時期にしてはエアコンの需要が結構ある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・例年2月はキャンペーン等を組んで、訪問活動をしている。少しずつ、客の消費動向が上向きになりつつある。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・根本的なことは何も変わらず、景気が回復しているわけではない。電子商取引やインターネット販売などで購入する方の百貨店離れがあるが、今月は前年と違い、降雪量の少なさと気温の高さが、春物への関心を高める要因の1つとなり、春物の売上も伸びている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・2月25日までで、来客数は前年比96%である。道路拡幅工事や近隣の古い団地の立ち退き等による住民の減少による影響が、イベントが2か所であったため、売上は同比21%増となっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2月のイベントの節分やバレンタインデーはやや低調だったが、全体的に気温が高く、過ごしやすいい日が続いたため、割と実績が良かったという感じがしている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・暖冬の影響もあり、集客は前年より増えている。ただし、単価などを考慮すると平年並みである。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・例年、販売需要期となる3～4月を迎えるが、前しょう戦的な動きが薄く、心配な状態が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前月より若干ではあるが、車検、一般整備の入庫台数は増加している。しかし、車両販売は低迷している。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・気温が高くなりつつあり、例年より1か月早く、春物の需要が始まっている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・地域全体が低迷している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・年末あたりからずっと良くない。下げ止まっているような気はするが、良くなりそうな様子はない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年は2月5日が春節であったため、この週は中華圏からのインバウンド客が多く、その分売上が上がっている。地方の温泉旅館であるが、首都圏からも比較的近いいため、インバウンドの影響が徐々に出てきている。

	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・最近の様子をみても、大きな変化や客の増減はみられない。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・物価が徐々に上がっており、節約志向が強くなりつつあるためか、有料放送を始め、オプションの動きもほとんどない。	
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・仕事の依頼は多く、間に合っていない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・降雪の少ない冬だが、観光客の人通りも少ない。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候は温暖で、来客数は安定しているものの、買上は伸びない。	
	スーパー（経営者）	単価の動き	・客単価が、若干下がり続けている。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来店客が増える兆しはみえてこないため、悪くなっている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・2月の国立大学受験時期は、例年だと8割くらい宿泊が埋まるが、今年は6割程度しか部屋が埋まらなかった。料金の安いホテルに流れているのではないかと。また、レストランも今月イベントを行ったが、集客が10%減少している。	
	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・米国と中国の情勢悪化に伴い、県内企業の仕事量が低下しており、企業の海外出張や旅行の縮小が目立ち始めている。	
	タクシー運転手	単価の動き	・昼間、特に午前中の動きは良いが、夜はほとんど動かない。夜に動かなければ、単価は落ちる。	
	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・地方創生政策の成果がみえない。中央から来たお金が、中央のコンサルに還流されてしまう。その一方で、活性化委員会などでボランティア奉仕をさせられた挙げ句、目先の成果重視のライフサイクルコストを無視した施設の開設などで、地方の負担は増えるばかりである。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・競合店が多く、低料金店舗も少しずつ増加しているため、1人当たりの平均単価が下がっている。	
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・年明けから何か様子がおかしい。今までにぎわっていたわけではないが、それなりの来客数だった。それがぱったり途切れてしまい、終日ガラガラである。時折来る客に、「中心街は寂しいね」と言われるのは何とも悲しい。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ピーク時間帯が、ピークでなくなったような状況になっている。駐車場には車がいっぱいあるが、店内には客がいない状況になっているので、厳しい。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・来客数の動きや、競争相手の様子を見ても、とにかく、全く良くない。
企業 動向 関連  (甲信越)	-	-	-	
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・例年以上に来客数が増加しており、特に、海外からの観光客が増えている。それに伴いワインの消費も増加している。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・繁忙期の12月の反動で販売は目標に達せず、業界全体の販売額もなかなか上向いてこない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品、店頭販売品共に、受注は少ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・安定はしていないものの、急な注文が入り、多忙ではある。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・アジア圏からの訪日客は伸びてきており、ここ最近では欧州の旅行者も増えてきていると感じる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・今月は寒さも比較的穏やかで、更に降雪も少ないため、冬物商材の売行きは期待外れとの話を聞く。ホームセンターには融雪剤が山のように残っている。今月のチラシ出荷量は前年比91.2%と大きく減少している。
		食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・新しいスーパーの出店で、客が流れている。

		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数は出てきているが、契約には至らない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の設備投資需要などは、底堅く推移しているものの、一部で米中貿易摩擦の影響が出始めている。
	x	その他製造業 [ 宝石・貴金属 ]（経営者）	受注量や販売量の動き	・宝飾品の催事や地場産業祭りの企画と共に行った宝飾セールsの集客はいずれも厳しく、購買単価も極端に落ちている。卸業者は販売不振が続き、仕入をストップしている。悪かった前年実績から更に10%ほど落ち込んでいる。
雇用 関連  (甲信越)		-	-	-
		-	-	-
		求人情報誌製作 会社（経営者）	周辺企業の様子	・募集広告を出しても応募者は少なく、採用もないため、業種によっては常時求人誌で募集をしている。厳しい状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は前年同月比で0.4%減少しており、募集人員を抑え気味である。正規雇用の可能性を含んだ非正規雇用の募集傾向もみられる。暖冬の影響で、客足が落ちずに収益が安定している業種がある一方、売上減の業種もみられる。求職者については、前年のような降雪の影響はなく、前年同月比で10%程度の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率、新規求人数共に大きな変動はみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は前年7月より高水準を維持しており、有効求職者数の動きに変化はみられない。
		人材派遣会社 （営業担当）	雇用形態の様子	・正社員採用で就職するものの、再就職や派遣に戻りたいという相談が増えている。ハローワークでの就業条件との差異が大きく、悩むケースも多い。例年より増えている採用試験前や入社前の打ち合わせが甘いようである。
	x	-	-	-